誠之の教育

２月号（第６３６号）
令和６年２月１日発行
文京区立誠之小学校

人のよさを認め合い、高め合う子供

研究主任　岩田　純一

学校には、教職員が共同で取り組む校内研究という活動があります。誠之小学校の子供たちの良さや課題、学校の実態を踏まえ、研究テーマを決めて、授業改善のための研究を推進しています。

今年度の研究テーマを、『人のよさを認め合い、高め合う児童の育成』と掲げ、主に国語科を中心に「思いや考えを伝え合う活動」を重点にして研究を進めています。研究を進めるにあたって、子供たちの実態調査アンケートを行いました。その結果をみると、国語の学習が好きな子は約80%、自分の考えをもったり、ノートに書いたりしている子が約85%いる一方で、自分の考えを伝えたり、友達の考えを聞いたりする子は約75%とやや低いことが分かりました。これまで、コロナウイルス感染症対策として、学校での学習活動が制限され、友達と対話して学んだり、グループで活動したりする経験が不足していることも影響しているように感じています。

そこで、今年度の校内研究を進める中で、子供たちが自分の考えをもつため、対話的に学ぶための授業の在り方を、教職員も対話をしながら授業力向上に努めています。今年度は各学年で１時間の研究授業を行い、教職員で互いの授業を見合い、協議を重ねてきました。

１年生
「くじらぐも」

２年生
「スイミー」

３年生
「ちいちゃんのかげおくり」

４年生
「ごんぎつね」

５年生
「大造じいさんとガン」

６年生
「やまなし」

どの教室でも、机を合わせて対話的に学ぶ光景が見られるようになってきました。「やっぱりそうだよね！」「なるほど！」「え、どうしてそう思ったの？」「もう１回考えよう！」など、友達との対話を通して、子供たちの学びが広がる声が聞こえてきます。対話的な学びは、自分と友達が同じ考えである安心感、自分と友達が違う考えであるドキドキ感を味わい、新たな気付きをすることができます。互いの考えの“ズレ”は、対話を生み、子供たちは様々な考えに触れて、思考を広げ、深めていきます。これは、学校ならでは学びです。今後も『人のよさを認め合い、高め合う児童の育成』を目指して、校内研究を進めてまいります。

特別活動～わくわく班活動～

大人になってから小学校時代を振り返るとき、印象深く思い出されることは、学級活動や委員会活動、クラブ活動また運動会、音楽会、学芸会、宿泊学習などであることが少なくありません。これらは全て特別活動の一環です。この意味では、特別活動は小学校教育を代表するといえるでしょう。そこで、誠之小学校の特色である特別活動として行っている「わくわく班活動」について紹介します。

「わくわく班」って、なあに？

本校では、「各学年で編成された縦割りでの活動を通して、学級・学年の枠をこえた親睦を深めるとともに、集団の一員としての自覚をもち、協調性と責任を養う。」という目標の下、「わくわく班活動」を行っています。具体的には、１年生から６年生までの各学級において複数の小グループをつくり、学年を超えて縦割りに班を編成します。現在、いちょう１～８班、えんじゅ１～８班、さくら１～８班、みずき１～８班があります。１・２学期は６年生が、３学期は５年生が計画を立て、中心となって活動を進めています。

異学年で活動する場を通して、上級生には下級生を思いやる気持ちを、下級生には上級生のよいところを学ばせたいと考えています。

わくわく班でこんな活動をしています

５月から月に１回、清掃・昼休みの時間（約２０分間）に班ごとに集まって、６年生が中心に遊びを考え活動します。このほかにも、集会委員の児童が「児童集会」を計画し、ゲームやクイズなどの動画を作成したものを、わくわく班のメンバーで見たり、「６年生を送る会」では、在校生がプレゼントや動画を作成して、わくわく班のメンバーで６年生の卒業を祝ったりと、いろいろな機会に縦割り班の活動を行っています。

わくわく班活動の様子

クイズあそびの様子

５年生へ引継ぎの様子

図書室を支える　図書ボランティア

図書室の前や室内には、季節に合った掲示物や読書に関する飾りがたくさんあります。これらは、図書ボランティアに所属する保護者の皆さんが作ったものです。図書室が明るくなり、子供たちも「掲示が変わったよ。」「これ、かわいいね。」と、楽しみながら図書室に集まってきます。

子供たちが、本を借りやすいように環境整備をするのも図書ボランティアの役割です。書架の整頓をして、本を探しやすくなるように並べたり、ページが破れた本の修繕をしたりします。

各教室に置かれた学級文庫も、図書ボランティアが毎年準備をしています。古本や寄贈本の中から、子供たちが興味をもちそうな本や読んでほしい本を選び、発達段階に応じて、学年ごとに分けます。たくさん読んでも本が傷みにくいように、一冊一冊、表紙に手作業でブッカーをかけます。クラスの全員が手に取れる冊数の本を全学級分用意するため、前の年度の一年をかけて準備していく大変な作業です。学級文庫をきっかけに読書の楽しさを味わう子供も多く、中には、学級文庫で読んだシリーズ本の続きを図書室に探しに来る子もいます。

今年度は、図書委員会ともコラボして読書イベントを行いました。図書委員会が企画した「読書パズル」と「読書ビンゴ」の景品を、図書ボランティアが作成しました。かわいい模様の紙や布、切り抜きをラミネートして作った“しおり”、本の表紙カバーで作った“ペーパーバッグ”、子供の手に乗る小さなノートの“豆本”が、イベントを彩りました。

図書ボランティアの活動は、週に１回程度、今年度は木曜日の午前中に行っています。５０名を超える登録者の中から、　その日に都合がつくメンバーが集まり、活動をしています。

新校舎の完成に伴い、地下にあった図書室も１階の家庭科室の並びに移転します。新しい図書室が、本好きの子供たちであふれるように、今後も活動が続きます。

2月の行事予定

日	曜	行　　事	こどもひろば
1	木	校外体育（3･6･2年生）	
2	金	校外学習シビックセンター（3年生）	
3	土		○
4	日		○
5	月	校外体育（5･1･4年生）	
6	火	全校朝会（放送）	
7	水		
8	木	校外体育（3･6･2年生）	
9	金	委員会活動	
10	土		○
11	日	建国記念の日	○
12	月	振替休日	○
13	火	全校朝会（放送） 新1年生入学説明会	
14	水	身体測定（6年生） 生活科見学（1年生）	
15	木	TGG（5年生） 校外体育（3･6･2年生）	
16	金	クラブ活動 クラブ見学（3年生）	
17	土		○
18	日		○
19	月	校外体育（5･1･4年生）	
20	火	全校朝会（放送）	
21	水		
22	木	校外体育（3･6･2年生）	
23	金	天皇誕生日	○
24	土		○
25	日		○
26	月	校外体育（5･1･4年生）	
27	火	全校朝会（放送）	
28	水		
29	木	午前Ｂ時程 校外体育（3･6･2年生） わくわく班活動	